

この度、瑞浪市陶磁資料館において作品発表の機会をいただき、誠にありがとうございます。

瑞浪の地で60年近く染織の道を歩き続けることが出来ましたのも、進路に迷える20歳の頃に、運命のごとく「郡上工芸研究所」において郡上紬^{つむぎ}の研究・制作、また研究生の指導をされていた宗廣力三先生にお会いでき、研究生として入所を許されたことによります。

研究所での2年間は、厳しく濃密でかけがえのないものでした。また、修行中は染織の技法だけでなく「心」を育てていただきました。年を重ねながらも織り続け、入落を繰り返しながら公募展にも出品しています。また、若い頃は野山を駆け回って草木の染料を採集・染色したものです。

私の作品を喜んで着てくださる方々が見えることを幸せ！に思います。

美は追いかけるものでなく、美に追いかけられるような正された生活を目指し、もう少し頑張りたいとひそかに思っています。

伊藤 恭子



〔略歴〕

昭和40年（1965）愛知県立旭丘高校（美術科）を卒業後、郡上^{あさひがおか}工芸研究所へ入所し、故・宗廣力三氏（重要無形文化財「^{つむぎしまおり}紬縞織・^{かすりおり}絁織」保持者）に師事。昭和44年（1969）瑞浪に居を定める。

紬縞織・絁織の技法を継承し、^{うきおり}浮織と絁織を組み合わせた「^{うき}浮織絁」を中心に、^{おりかすり}紬織・よろけ織などの作品を制作。

現在、瑞浪市無形文化財「浮織絁」保持者、日本工芸会正会員



宗廣先生と私（於 郡上工芸研究所 / 昭和42年）



研究所卒業（先生と研究生一同 / 昭和44年）

昭和40年（1965）愛知県立旭丘高校（美術科）卒業

昭和42年（1967）郡上工芸研究所へ入所。故・宗廣力三氏に師事。

昭和44年（1969）同研究所を卒業し、瑞浪に居を定める。

昭和45年（1970）日本伝統工芸染織展 入選（以後入選を重ねる）。
東海伝統工芸展 入選（第1回より出品を継続）。

昭和58年（1983）東海伝統工芸展 名古屋市教育委員会賞受賞。

昭和59年（1984）東海伝統工芸展 東海支部奨励賞受賞。

昭和62年（1987）日本伝統工芸展 入選。

東海伝統工芸展 岐阜高島屋賞受賞。

平成12年（2000）東海伝統工芸展 愛知県教育委員会賞受賞。

平成13年（2001）東海伝統工芸展 岐阜県教育委員会賞受賞。

平成14年（2002）東海伝統工芸展 東海伝統工芸展賞受賞。

平成19年（2007）岐阜県伝統文化継承功績者顕彰。

平成20年（2008）日本工芸会正会員となる。

平成24年（2012）瑞浪市無形文化財「浮織絁」保持者に認定。

平成26年（2014）東海伝統工芸展 東海伝統工芸展賞受賞。

平成27年（2015）「紬織」伝承者養成技術研修会に参加（翌年も参加）。

【指導：重要無形文化財「紬織」保持者 佐々木苑子氏】

現在も日本伝統工芸展、日本伝統工芸染織展、東海伝統工芸展に出品

【展示協力：伊藤紗綾氏】

※下記の手帳をお持ちの方は、受付で提示していただくと入館料が無料となります（デジタル障がい者手帳「ミライロID」も利用可）。なお、介護者の方は原則として手帳所持者1名につき1名が無料となります。

〔身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、療育手帳又は療育手帳に代わる証明書〕